

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月17日(金) 15時30分～17時10分
会場：SA会場(第6校舎1階613)

プログラム

15:30- 会長講演

「分子が開く破壊的イノベーション」

平成28、29年度会長 山本 尚

16:10- 表彰式

スプリングコンサート2017

日時：3月18日(土) 16時～17時
会場：SB会場(第6校舎2階623)

今回の「スプリングコンサート」は、例年の日程とは異なり、春季年会3日目に開催いたします。

化学オーケストラ：

日本化学会会員を中心に広く化学関係者によって2002年に結成された音楽団体で、日本化学会春季年会の「スプリングコンサート」、および秋の「千代田区オーケストラフェスティバル」にて演奏を披露しています(オケフェス：2017年10月21日(土)、大手町・日経ホール)。

また、国際交流にも熱心で、2011年にはドイツ化学会年会(ブレーメン)、2015年には環太平洋国際化学会議(ホノルル)で各国の化学者やアマ・プロオケ奏者と演奏を共にしています。

プログラム：序曲特集

有名作曲家による様々なスタイルの序曲を集めてみました。それぞれ元ネタとなる題材のストーリーやシンボリックな旋律・音色をご堪能いただきながら、名だたる大作曲家がどのように短い序曲に凝縮したのかを、指揮者の解説とともに楽しみ下さい。

1. モーツァルト/歌劇「魔笛」序曲
 2. ベートーベン/序曲「コリオラン」
 3. シューベルト/劇付随音楽「ロザムンデ」序曲
 4. J. シュトラウスII/喜歌劇「こうもり」序曲
- 指揮：宮野谷 義傑(オーケストラトウキョウ音楽監督)

参加費：無料

問合せ先：日本化学会事務局 保倉 光邦

E-mail: hokura@chemistry.or.jp

http://chemical.world.coocan.jp/orchestra/index.htm

懇親会

日時：3月17日(金) 18時～20時
会場：クイーン・アリス ガーデンテラス日吉
(慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館2階)

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、是非お問い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般8,000円、学生8,000円

申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

※先着順。定員に達し次第、受付を終了。予約で定員に達した場合、会期中の受付はいたしません。

ATP 交流会

日時：3月16日(木) 18時～19時30分
会場：大学食堂棟2階 グリーنزマルシェ

気軽に立ち寄れる出会いと交流の場を、春季年会参加者の皆様に提供します。ATPセッションのオーガナイザーや講師、ATPポスター講演者も多数参加し、face-to-faceで交流できる、願ってもないチャンスです。アルコール、ソフトドリンク、軽食とともに、素敵なプレゼント抽選会など楽しみも盛り沢山!是非お誘い合わせてATP交流会へお立ち寄り下さい。学生は参加費無料です!!

参加費：学生無料、一般1,000円

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 白石・坂下

電話(03)3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月17日(金) 17時30分～19時30分
会場：大学食堂棟1階

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場をChem-Stationより提供いたします。※詳細はWEB(<http://www.chem-station.com>)をご覧ください。

参加費：無料(※飲物は参加者が購入するスタイル)

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

実験教室 ～不思議なカラーマジック!～

日時：3月18日(土)
会場：第7校舎3階 理工学部基礎教室734 化学実験室

私たちの身のまわりで化学がどのように役立っているかを広く知ってもらうために、小学生を対象とした実験教室を開催いたします。

プログラム

「ムラサキイモの色水を使った不思議な実験」&「消える絵!」

実施全4回 (1) 10:00- (2) 11:30- (3) 13:30- (4) 15:00-

(実施時間は約1時間)

参加費：無料

申込方法：事前申込制(先着順)。

WEB(<http://www.csj.jp/nenkai/97haru/5-2.html>)の申込フォームよりお申込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

元素ネイル体験 ～オリジナルネイルを作ろう～

日時：3月16日(木)～18日(土) 12時～16時
会場：日吉記念館

「化学をもっと身近に！」おしゃべりは手元から。自分の好きな元素記号で指先を飾ってみませんか？ オリジナルの元素ネイルを作成できます。

[O・Mo・Te・Na・Si]のように、元素記号を組み合わせて言葉を作るのも楽しい!!

参加費：無料
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

市民公開講座 ～驚きのかかく～

日時：3月18日(土) 13時25分～17時
会場：S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム
13:30- 創業の楽しさと難しさ(ペプチドリーム) 舂屋 圭一
14:20- ガウディと深海と化学(海洋研究開発機構) 出口 茂
15:10- 進化する不可能立体:脳が作り出す不条理の世界(明治大) 杉原 厚吉
16:20- 年会落語(落語協会) 三遊亭 歌武蔵他
参加費：無料
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会
協力：(株)化学工業日報社

後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会
日時：3月16日(木)～18日(土) 10時～17時
会場：日吉記念館
参加費：無料
出展社：(2月2日現在)

(株)アイシス、朝日分光(株)、アステラテック(株)、アヅマックス(株)、American Chemical Society、(株)アントンパール・ジャパン、(株)池上精機、Wavefunction, Inc.、HPCシステムズ(株)、英文校正エナゴ/論文翻訳ユレイタス、エルゼビア・ジャパン(株)、大塚電子(株)、オプトシリウス(株)、国立研究開発法人科学技術振興機構、化学情報協会、(株)化学工業日報社、(株)化学同人、カクタス・コミュニケーションズ(株)、関東化学(株)、九州大学大学院 分子システムデバイスコース、(株)共立理化学研究所、(有)桐山製作所、(株)グループボックス・ジャパン、(株)クロスアビリティ、(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン、(株)講談社、コーニングインターナショナル(株)、コンフレックス(株)、(株)サイダ・FDS、(株)三永電機製作所、三共出版(株)、CEM Japan(株)、重松貿易(株)、システム・インストルメンツ(株)、(株)システムハウス・サンライズ、柴田科学(株)、ジャパンハイテック(株)、シュプリング・ネイチャー、シュレーディンガー(株)、昭光サイエンス(株)、スペクトリス(株)パナリティカル事業部、(株)ダイセル、田中貴金属グループ、(株)DFC、(株)デジタルデータマネジメント、Taylor & Francis、テンプスタッフ(株)、(株)東京インストルメンツ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京ダイレック(株)、東京理化学器械(株)、中山商事(株)、ナカライテック(株)、(株)日報化学品法規情報センター、公益社団法人日本化学会 会員委員会、公益社団法人日本化学会 学術情報部、公益社団法人日本技術士会 化学部会、(株)日本サイエンスコア、一般社団法人日本試薬協会、日本製紙クレシア(株)、日本電子(株)、日本ニューメリカルアルゴリズムズグループ(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、(株)パーキンエルマー・ジャパン、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)バキューブランド、サイエンティフィック ジャパン、浜松トニクス(株)、ハリオサイエンス(株)、ビー・イー・エス(株)、ヒドラス化学(株)、兵庫県立大学ピコバイオロジー専攻(リーディング大学院)、フィルジェン(株)、(株)フォーディクス、富士通(株)、分子・物質合成プラットフォーム/テクノロジープラットフォームセンター、分子化学研究所大学連携研究設備ネットワーク、丸善雄松堂(株)、丸善出版(株)、メトラー・トレド(株)、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、(株)リガク、ロイヤルソサエティ・オブ・ケミストリー、(株)ワイエムシィ、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

ノーベル賞特別講演会

日時：3月19日(日) 10時30分～11時30分
会場：S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

第97春季年会実行委員会では、北里大学特別栄誉教授 大村智先生(北里研究所)によるノーベル賞特別講演会を企画いたし



ケムステ イブニングミキサー
Chem-Station Evening Mixer 2017

今年は特別企画あり!

「若手研究者は論文よりも100人の友」

3月17日(金) 17:30より慶應義塾大学日吉キャンパス食堂1Fで開催
対象：全分野の大学生・大学院生・若手研究者 | 参加無料(1ドリンク制100円) | 主催：Chem-Station, 日本化学会

ました。講演は、質疑応答含め1時間を予定しております。

プログラム

10:30- 微生物創薬と国際貢献(北里研究所) 大村 智

参加費: 年会参加者に限る。申込不要。

問合せ先: 日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

「ニホニウム」正式決定記念, 特別講演会

日時: 3月19日(日) 11時45分~12時45分
会場: S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

113番目の元素が我が国の理化学研究所森田グループによって発見され、昨年末、正式にnihonium(和名ニホニウム、元素記号Nh)と命名されました。科学の長い歴史の中で、アジアの研究者による元素発見は初めての事です。今回、研究グループメンバーである羽場宏光博士の講演会を企画し、研究の意義、実験の設備、発見の瞬間などを、わかりやすく解説いただくことになりました。科学の専門家に限らず、一人でも多くの中高校生、一般の方々への聴講を希望しています。

プログラム

新元素 ニホニウムの発見一理研・森田グループからの詳細報告(理研) 羽場宏光

参加費: 無料

申込方法: 事前申込不要。当日会場にて受付。

問合せ先: 日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2017

主催: エルゼビア・ジャパン株式会社
日時: 3月17日(金) 13時30分~17時
会場: S7会場(第4校舎独立館 1階 D101)

ReaxysPhD Prizeは、2010年にエルゼビアが設立した若手研究者向けの国際的な賞として徐々に拡大しており、今日に至るまで500を超える大学から3,000件以上の応募をいただいています。

今年のReaxys Prize Clubシンポジウムでは、恒例となりました特別講演および2016年迄のReaxys PhD Prize受賞者とファイナリストからなるReaxys Prize Clubの若手研究者による講演をはじめ、論文の著者向けのワークショップや、電子ジャーナルの活用法等のセッションを企画しております。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

プログラム

13:30- 開会挨拶(東大院理 統括プロジェクト機構・特任教授) 中村 栄一

13:40-14:30 特別講演

特殊ペプチド創薬イノベーション(東大院理・教授) 菅 裕明

14:30-14:55 招待講演

(仮題)自己集合が導き出す新しい多面体型錯体群(東大院工・助教/JST さきがけ(兼任)) 藤田 大士

14:55-16:15 Reaxys Prize Clubメンバーの講演

・14:55- 巨大環状張ボルフィリンの芳香族性(千葉大院薬・助教) 米田 友貴

・15:15- 光をエネルギー源とする有機分子への二酸化炭素取り込み反応(京大院工) 増田 侑亮

・15:35- マレーシア産コブシアアルカロイドの全合成(東大院薬/千葉大院薬/理研・博士研究員) 中島 誠也

・15:55- ナノ空間で誘起される発光増強現象(北大院工・助教) 石田 洋平

16:15-16:50 著者向けワークショップ

エルゼビア・ジャパン(株)リサーチソリューションズ ソリューションコンサルタント 高橋 昭治

16:50- 質疑応答

17:00- 閉会挨拶

※上記プログラム内容には予告なく変更が入る場合があります。

参加費: 無料

申込方法: 申し込み不要(学会参加者)、直接会場にお越し下さい。

問合せ先: エルゼビア・ジャパン株式会社

リサーチソリューションズ マーケティング担当 駒村

106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15

東麻布 1丁目ビル 4階

電話(03)5561-5034(代表) FAX(03)5561-0451

E-mail: jp.pr@elsevier.com

ご案内: エルゼビアは、展示ブースも出展しております。ブースではオンライン製品やジャーナルのご紹介およびデモンストレーション、新刊書籍のサンプル展示等を予定しております。

AMED・HFSP シンポジウム ~国際グラント・フェローシップ への招待~

主催: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

日時: 3月17日(金) 13時30分~16時

会場: S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は生体の精妙かつ複雑なメカニズムに焦点を当てた革新的、学際的、かつ新規性を備えた基礎研究を支援する国際グラントです。研究対象は、細胞構造における詳細な分子状態から、神経システム科学における複雑な相互作用にまで及びます。特に、ライフサイエンス以外の分野(物理学、数学、化学、情報科学、工学等)の科学者達の専門知識を活用した、独創的な最先端の共同研究に大きな重点を置いています。

本シンポジウムでは、過去の研究グラントやフェローシップの受賞者に国際・学際的共同研究の魅力をお話いただきます。国際共同研究や海外留学にご関心がある方は是非お越し下さい。

プログラム

13:30- 挨拶 AMED

13:40- 研究グラント/若手研究グラントの紹介

HFSP グラント審査委員
金城 政孝(北大院生命科学)

14:00- 2008年若手研究グラント受賞者 田中 好幸(徳島文理大薬)

14:20- 質疑応答

14:30- 休憩

14:40- フェローシップの紹介

HFSP フェローシップ審査委員
原田 慶恵(大阪大蛋白質研)

15:00- 2009年フェローシップ受賞者

川上 隆史(山梨大生命環境学)

15:20- 2009年フェローシップ受賞者

石川 春人(大阪大院理)

15:40- 質疑応答

参加費: 無料

問合せ先: 日本医療研究開発機構国際事業部国際連携研究課 古川 修平

100-0004 千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 23F

電話(03)6870-2215 FAX(03)6870-2215

E-mail: international@amed.go.jp

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)

<http://www.amed.go.jp/program/list/03/01/044.html>

CREST & さきがけ 「超空間制御」合同シンポジウム ~超空間が拓く革新的機能と 新素材~

主催: 国立研究開発法人科学技術振興機構

日時: 3月18日(土) 10時~16時

会場: S7会場(第4校舎独立館 1階 D101)

CREST さきがけ「超空間制御」研究領域が発足してから3年半が経ち、合同シンポジウムも3回目を迎えます。第95、96日本

化学会春季年会では「超空間を舞台とする新しい化学」と題し、「超空間」を主役とした化学への可能性について講演を行いました。今回はより現実的になってきた革新的機能、素材を中心に報告いたします。また、さきがけでは、今年度最終年度となる第一期研究者の研究成果をわかりやすく説明いたします。いずれも挑戦的でキラリと光る独創的な課題であり、重要な成果が生まれたものと思います。ご期待下さい。

プログラム

- 10:00- CREST 趣旨説明 (三菱化学) 瀬戸山 亨
10:15- 超イオン伝導パスを拓く階層構造による結晶相界面デザイン (信州大) 手嶋 勝弥
10:40- アニオン超空間を活かした無機化合物の創製と機能開拓 (京大) 陰山 洋
11:05- 超空間制御触媒による不活性低級アルカンの自在転換 (早大) 関根 泰
11:30- テーラーメイドナノ空間設計による高機能高分子材料の創製 (京大) 植村 卓史
13:00- さきがけ主旨説明 (早大理工学術院) 黒田 一幸
13:10- 分子レベルで制御された次世代キラル超空間の創製と機能開拓 (金沢大) 生越 友樹
13:25- 階層的ナノ空間内の擬高压光反応による新規導電材料の創製 (信州大) 藤森 利彦
13:40- 応力で自在に変形する超空間をもつグラフェン系柔軟多孔性材料の調製と機能開拓 (東北大) 西原 洋知
13:55- 細孔性結晶を用いた微量薬物の分解・代謝過程の可視化 (北大) 猪熊 泰英
14:10- ナノ粒子の高次空間制御による高効率光エネルギー変換系の創製 (神戸大) 立川 貴士
14:30- 電荷分離空間の創製と革新的機能の展開 (京大) 樋口 雅一
14:45- 遷移金属酸化物薄膜で形成されたメソ空間での固体触媒機能の発現 (東工大) 野村 淳子
15:00- イオン結晶の階層的構築と吸着・輸送・変換場への応用 (東大) 内田 さやか
15:15- メソポーラス材料を基盤とする新規フォトニクス材料の創製 (京大) 村井 俊介
15:30- 高次ナノ超構造体の空間空隙を主導パラメータ群とする高効率光電変換物質の計算科学的デザイン (京大) 金 賢得
15:45- ゼオライト骨格中ヘテロ原子の直接観察とサイト制御 (阪大) 阪本 康弘
- 参加費：無料 (定員 100 名)、申し込み不要
領域 URL：http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112062.html
http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/research_area/ongoing/bunyah25-3.htm
問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部「超空間制御」研究領域 酒部
102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町
電話 (03) 3512-3531 FAX (03) 3222-2063
E-mail: kenichi.sakabe@jst.go.jp

就活生・若手研究者大集合！ 先端研究・ヒット商品開発の舞台裏 (男女共同参画シンポジウム)

主催：日本化学会 男女共同参画推進委員会
日時：3月16日(木) 15時～17時15分
会場：S9会場 (第4校舎独立館 3階 D312)

男女共同参画推進委員会では、産官学で活躍されている若手～中堅の研究者・技術者に、これまでの研究や技術開発、仕事に対するモチベーションや楽しさ・苦勞についてご紹介いただきます。また、将来のキャリアパスに対する考えもお話しいただくとともに、参加者と意見交換させていただきます。様々な分野で活躍されている研究者・技術者のこれまでの取り組みや考えを知ることは、これから就職活動が始まる学生や、これから自分自身で研究を展開していこうとしている若手研究者の皆さんにとって、何よりの参考となるのではないかと思いますので、是非ご参加下さい。

プログラム

- 15:00- 趣旨説明・開会挨拶
15:05- 女性化学者奨励賞 受賞者の紹介

- 15:15- 第1部 企業での仕事を語る
皮脂汚れが勝手に落ちていく?!～身体洗浄剤における新しい洗浄技術とその裏側～(花王 マテリアルサイエンス研) 加賀谷 真理子
自分を見つめよう (帝人 高機能繊維事業本部) 神山 三枝
有機EL材料開発の楽しみと課題～企業で働く研究員としての心得～(住友化学 先端材料開発研究所) 張 春穎
- 16:00- 第2部 アカデミアでの仕事を語る
アカデミアでの仕事のオンオフ～アメリカ留学から学んだこと～(九大水素エネルギー国際研究センター) 林 灯
高専教員として私が工夫していること～教育と研究を両立させる方法～(宇部高専物質) 廣原 志保
開発技術の社会実装を目指して～働く母の奮闘記～(東北大院工) 北川 尚美
- 17:10- 閉会挨拶
17:30- 交流会 (無料 (学生歓迎)) 社会人からの情報提供・アドバイス
- 参加費：無料
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 竹内 恵
電話 (03) 3292-6163
E-mail: danjo@chemistry.or.jp

論説フォーラム：徹底討論！ グローバル社会をリードする 化学者になろう！

主催：日本化学会 論説委員会
日時：3月17日(金) 10時～12時30分
会場：S6会場 (第4校舎独立館 地下2階 DB203)

2005年から化工誌に「論説」が創設されて以来、これまで140篇余に及ぶ論説で「人材育成」「科学思想」「政策提言」「化学産業競争力」「大学・研究機関の体制」「科学と社会」に加えて「グローバル化」も大きなテーマとなっています。そこで、「グローバル社会をリードする化学者になろう！」をメインテーマに設定し、野依良治先生に基調講演をいただくとともに、論説委員およびゲストライターの方々から、個々の経験をもとにご意見を5分間程度でご披露いただき、討論する場を設定しました。学生会員を含め、多数の来場とご意見を歓迎いたします。

プログラム

- 総合司会：菅 裕明 (東京大学)
- 10:00- 趣旨説明 玉尾 皓平 (日本化学会論説委員会委員長, 理研)
- 10:05- 基調講演
「我が国の科学技術の国際競争力、国際協調力」
野依 良治 (JST CRDS センター長)
- 10:50- パネルディスカッション
1) 世界に仲間を作ろう
山本 尚 (日本化学会会長, 中部大学・元シカゴ大学)
上杉 志成 (京都大学・元米国ベイラー医科大学)
上野 京子 (化学情報協会)
- 2) 大学・研究機関・企業の現場から
山内 薫 (東京大学)
橋本 和仁 (内閣府 CSTI・物材機構)
射場 英紀 (トヨタ自動車株式会社)
- 3) 日本化学会の取組み
山本 尚 (日本化学会会長, 中部大学・元シカゴ大学)
澤本光男 (日本化学会国際交流委員会委員長, 京都大学)
- 4) フリーディスカッション
- 参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 美園, 田中
電話 (03) 3292-6165
E-mail: ronsetsu@chemistry.or.jp

あなたの将来を考える ランチオン相談会 ～企業が求める化学者像～

主催：日本化学会 産学交流委員会 人材交流小委員会

日時：3月17日(金) 11時30分～13時
会場：S9会場(第4校舎独立館3階 D312)

今後の世界が直面する温暖化問題、食料・水問題等の解決には、科学技術をベースとしたイノベーションが必要とされています。その科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人財が変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画では、企業が求める化学者像を理解してもらい、ランチオン相談会で、企業の研究者、研究管理者とともにあなたの将来のキャリアパスについて考える機会を設けます。特に博士課程への進学悩んでいる方にとっては、またとない機会になること間違いありません。

プログラム

11:30- 話題提供『企業が求める化学者像』(東レ) 長瀬 公一
11:45- 企業研究者および企業研究管理者自己紹介
研究者：脇田 潤史(東レ)、松田 豊(味の素)、染谷 尚宏(ニコン)、池田 明博(BASF ジャパン)、他数名を予定。
管理者：長瀬 公一(東レ)、岩畑 大悟(味の素)、矢作 和行(花王)、元永 彰(三菱レイヨン)、松本 啓(BASF ジャパン)
12:00- ランチオングループディスカッション
13:00- 退場
参加費：無料(年会登録者に限る)
対象：学生
申込方法：Webよりお申込み下さい。(先着50名)
<https://goo.gl/uq4bnt>
席数に余裕がある場合には、当日の朝10時より総合受付付近にて整理券配布予定です。
問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬
電話(03)3292-6163
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

ここがポイント、 日本人英語からの脱却

主催：日本化学会 国際交流委員会
日時：3月17日(金) 13時30分～14時30分
会場：S2会場(第4校舎(B棟)2階 J24)

サイエンスがグローバル化している現在において、自分の研究の素晴らしさを理解してもらうためには英語が必須である。伝えたいことを正確かつわかりやすく伝える、その基本的なことができる英語力を身に付けなければ自分の研究を理解してもらえない。本企画はカートハウス先生(千歳科技大)をお招きし、英語発表における日本人にありがちなミスをしないための留意点やアピール技術の向上について講演をいただく。

プログラム

13:30- ここがポイント、日本人英語からの脱却(千歳科学技術大学) Olaf Karthaus
参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 企画部 中村 史夫
電話(03)3292-6163
E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2017

主催：日本化学会・Wiley-VCH
日時：3月18日(土) 11時～11時50分
会場：S9会場(第4校舎独立館3階 D312)

日本の化学関係8学協会のジャーナルとして刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルをいたしました。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクト・ファクターを含むビジビリティも着実に向上しております。山本 尚編集委員長による編集体制の下、本年も年会に併せてTCR Lectureを開催いたします。多くの皆様の参加をお願いいたします。

プログラム

Asymmetric Catalysis with Peptides and Other Bioinspired Catalysts Prof. Helma Wennemers (ETH Zürich)
参加費：無料(年会登録者に限る)
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 TCR 係
電話(03)3292-6165
E-mail: tcr@chemistry.or.jp

CSJ ジャーナルフォーラム 「ジャーナルへの投稿を考える。 アクセプトされ、引用される 論文を書くために」

主催：日本化学会
協力：カクタス・コミュニケーションズ(株)
日時：3月18日(土) 10時～12時
会場：S1会場(第4校舎(B棟)1階 J11)

日本化学会が刊行するジャーナル2誌(BCSJ, CL)は、国際的なビジビリティの向上に向けて様々な取り組みを行っている。これらの活動を理解いただくために、春季年会でジャーナルフォーラムを開催している。本年は「ジャーナルへの投稿を考える」と題し、何がacceptとrejectを分けるのか、引用され影響力のある論文を書くために心がけるべきKnow-How等に関して、カクタス・コミュニケーションズ(株)に協力をいただきセミナーを実施する。さらに両誌編集委員長から議論をいただく予定である。日頃からジャーナルを活用され、投稿を考えている研究者、学生の皆さんに是非参加いただきたい。

プログラム

10:00- 日本化学会の2誌(BCSJ, CL)の取り組み(ジャーナル戦略委員長) 玉尾 皓平
10:20- アクセプトされる論文の書き方(カクタス・コミュニケーションズ 講師 西川 マリ)
11:10- 「影響力のある論文を書くために」～高被引用著者でもある両誌編集委員長から～(CL編集委員長) 塩谷 光彦(BCSJ編集委員長) 有賀 克彦
11:40- Q & A
参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 鈴木、中谷
電話(03)3292-6165
E-mail: ejournals@chemistry.or.jp

第8回 日英シンポジウム

主催：日本化学会(CSJ)
共催：英国王立化学会(RSC)
日時：3月18日(土) 9時～17時
会場：S3会場(第4校舎(B棟)2階 J29)

本シンポジウムは日本化学会の国際交流活動の一環として英国王立化学会と共同で開催するものです。

第一回を2007年3月87年会(関大)にて開催、第二回2008年9月(Belfast, UK)、第三回2010年7月(RSC, Burlington House, UK)、2011年中止、第四回2013年3月93年会(立命館大)、第五回2014年7月、(Dublin, UK)、第六回2015年3月95年会(日大)、そして第七回2016年6月(London, UK)、そして今回は第八回目の開催となります。

今回は“プラズモニクスの新展開”をテーマに、岡本 裕巳氏(分子研)、坪井 泰之氏(阪市立大)を日本側リーダーとし、英国側リーダーにはProf. Malcom Kadodwala(グラスゴー大)を迎え英国から6名の招待講演者を招き、日本側においても同数程度の講演者によりシンポジウムを開催します。

プログラム

9:00- Opening Remarks; Robert Parker (CEO, RSC)
9:10- Recent Developments in Plasmonics: Introduction (Institute for Molecular Science) Hiromi Okamoto

- 9:20- Site-selective Nanoscale-polymerization via Plasmon Induced Charge Separation (Kyushu Univ.) Yukina Takahashi
 10:00- Investigating Functional Materials using Surface Plasmon Resonance Spectroscopy (Univ. of Bath) Petra J. Cameron
 11:00- Spectral Properties of Plasmon-Molecule Hybrid States and Coupled Plasmonic Systems (Hokkaido Univ.) Kosei Ueno
 11:40- Metamaterials for Reactive Plasmonic Applications (King's College London) Wayne Dickson
 13:30- Space and Temporal Properties of Plasmons in a Single Metal Nanoplate Revealed by Scanning Near-field Optical Microscopy (Waseda Univ.) Kohei Imura
 14:10- Photonics at the Biomedical Interface: Intracellular Surface-enhanced Raman Spectroscopy (Univ. of Southampton) Sumeet Mahajan
 15:10- Alloy Plasmonic Materials for Sensor Applications (Yokohama National Univ.) Yoshiaki Nishijima
 15:50- Chemical Applications of Nanophotonic: Probing the Structure of Soft Matter with Chiral Nanostructures (Univ. of Glasgow) Malcolm Kadodwala
 16:30- Plasmonic Optical Tweezer toward Molecular Manipulation (Osaka City Univ.) Yasuyuki Tsuboi
 17:10- Closing Remarks; Hisashi Yamamoto (President, CSJ)
 参加費：無料
 申込方法：当日、会場にて受付
 問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子
 電話(03)3292-6163
 E-mail: inada@chemistry.or.jp

第7回 日中若手化学者フォーラム

主催：日本化学会 (CSJ)
 共催：中国化学会 (CCS)
 日時：3月18日(土) 9時~17時
 会場：S2会場 (第4校舎 (B棟) 2階 J24)

2009年3月に締結した『日中国際協力協定』に基づき、第1回を2010年中国化学会年会(厦門大学)、第2回2012年中国化学会年会(四川大學)、第3回2013年93年会(名大)、第4回2014年中国化学会年会(北京大學)、第5回2015年95年会(日大)、第6回2016年中国化学会年会(大連理工大)で開催。日中各10名程度の若手化学者で行ってきました。今回は“Frontier in Organic Synthesis toward Middle Molecular Strategy”をテーマにすえ、深瀬浩一氏(阪大院理)と土井隆行氏(東北大院薬)を日本側リーダーとし、中国側リーダーにはProf. Biao Yu(上海有機化学研究所)を迎え中国から6名の招待講演者を招き、日本側においても6名の講演者によりフォーラムを開催します。将来の日中間ネットワークの基盤構築を目的として、若い世代が向き合い、サイエンスだけでなく、個人的な人間関係を構築しながら両国の理解を深める機会となることを期待しています。

プログラム

- 9:00- Opening Remarks; Hisashi Yamamoto (President, CSJ)
 9:05- Introductory Talk (Osaka Univ.) Koichi Fukase
 9:10- Aromatic Molecules: Decarbonylative Coupling and Multiple Arylation (Waseda Univ.) Junichiro Yamaguchi
 9:40- C-H Functionalization Strategy for Chemical Synthesis of α -Amino Acids and Complex Peptides (Nankai Univ.) Gong Chen
 10:20- Synthesis and Biological Evaluation of Antibiotic Polyketides (Keio Univ.) Yoko Saikawa
 10:50- Natural Product Synthesis Facilitated by Ligand Design (Shanghai Institute of Organic Chemistry) Wenjun Tang
 11:20- Synthesis of Monomers for Spectomycin B1, A Middle Size SUMOylation Inhibitor Molecule (Kyushu Univ.) Go Hirai
 13:10- Remote Activation of O/S-Benzyl Glycosides in Latent-Active Glycosylation (Huazhong Univ. of Science and Technology) Qian Wan
 13:40- Development of the Novel Cancer Immunotherapy Utilizing α -Gal (Osaka Univ.) Yoshiyuki Manabe
 14:10- Type II Intramolecular [5+2] Cycloaddition (South Univ. of Science and Technology of China) Chuang-Chuang Li
 14:50- Aryl Fluorides: a Versatile Synthetic Platform for Natural Product Synthesis (Tokyo Institute of Technology) Ken Ohmori

- 15:20- Total Synthesis of Bioactive Natural Products: Efficiency and Diversity (East China Normal Univ.) Shuanhu Gao
 16:00- Development of Chemical Assembly Lines Generating Skeletally Diverse Natural Products and Their Variants (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology) Hiroki Oguri
 16:30- Complex Natural Product as a Driving Force for Discovery in Organic Synthesis and Chemical Biology (Peking Univ.) Xiaoguang Lei
 17:00- Closing Remarks; Biao Yu (Shanghai Institute of Organic Chemistry)
 参加費：無料
 申込方法：当日、会場にて受付
 問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子
 電話(03)3292-6163
 E-mail: inada@chemistry.or.jp

環境・安全シンポジウム 「化学物質のリスクアセスメント」

主催：日本化学会 環境安全推進委員会
 日時：3月18日(土) 13時30分~16時50分
 会場：S9会場 (第4校舎独立館 3階 D312)

大学および研究施設における安全のレベルアップに向けた関係者の啓発および情報交換を目的として環境安全推進委員会主催のシンポジウムを開催する。

大学および研究施設では、使用する化学物質やその使用法は工場などの事業所のように画一的ではないため、実験ごとに危険を把握して対策することが求められる。そのため、物質や作業の潜在危険性を洗い出すリスクアセスメントは、実験安全のレベルアップの有効なツールとして期待されている。化学物質のリスクアセスメントが労働安全衛生法で義務化された機会に、リスクアセスメントの手法と大学や研究施設での有効な活用について考え、情報交換するために本シンポジウムを企画した。化学会年会という場を活用して、多くの関係者に参加頂き、有用な意見・情報交換の場としたい。

プログラム

- 13:30- 挨拶と趣旨説明 (環境安全推進委員会 委員長/東大) 土橋 律
 13:40- 化学物質のリスクアセスメントの進め方 (研究機関, 化学産業向け) (安衛研・上席研究員) 島田 行恭
 14:30- 休憩
 14:40- 大学における化学物質リスクアセスメントの活用事例 (阪大安全衛生管理・教授) 山本 仁
 15:30- 化学物質のリスクアセスメントとラボのリスク軽減 (名大院環境・教授) 村田 静昭
 16:20- 総合討論
 参加費：無料。希望者には別途資料を有料配布 (1,000円)
 申込方法：直接会場にお越し下さい。
 問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬
 電話(03)3292-6163
 E-mail: env_safe@chemistry.or.jp

その他：当日、シンポジウム会場前の受付にて「安全な実験室管理のための化学安全ノート 第3版」を販売します。なお、販売する書籍は展示会会場(日吉記念館)の丸善出版ブースでもお求め頂けます。

第11回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会
 共催：日本化学工業協会
 日時：3月18日(土) 13時30分~17時
 会場：S1会場 (第4校舎 (B棟) 1階 J11)

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでの7回38件をそれぞれ認定・顕彰した。平成28年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補23件の調査・検証作業を行った。今回の市民講座では、本年度第8回化学遺産として認定予定の具体的な内容を紹介する。

プログラム

総合司会（名古屋産業振興公社 産学連携コーディネータ）亀山 哲也

- 13:30- 開会挨拶（化学遺産委員会委員長/京大名誉）植村 榮
13:40- 辻本満丸博士の先駆的偉業—魚油や肝油が日本の産業を支えた時代の世界的な油脂化学者—
（産総研）山岡 正和
14:15- 低温技術の進歩と日本の酸素工業の発祥・発展—認定化学遺産『日本の酸素工業の発祥と発展を示す資料』に学ぶ—（医研）新井 和孝
14:50- 除虫菊との出会いから“夏の風物詩”蚊取り線香の発明と殺虫剤産業の発展へ（大日本除虫菊：顧問）南手 良裕
15:25- 休憩
15:40- 近代化粧品工業を築いた明治の企業家たち（日本化学会フェロー）田島 慶三
16:15- 天然ガスかん水を原料とするヨウ素の工業生産（合同資源：技術顧問）海宝 龍夫
16:50- 閉会挨拶 亀山 哲也
参加費：無料。希望者には別途資料有料配布（予価1,000円）
申込方法：日本化学会化学遺産のページよりお申込み下さい。当日参加もできます。
URL：http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/
問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬 飛渡
電話(03)3292-6163
E-mail: chemarch@chemistry.or.jp

第24回化学教育フォーラム 高大接続～ペーパーテスト 偏重からの脱却～

主催：日本化学会 教育・普及部門
日時：3月18日(土) 13時30分～17時
会場：SA 会場（第6校舎 1階 613）

高等学校の授業は、小・中学校に比べると講義中心のものが多く、評価も定期考査などのペーパーテストを中心としている傾向があるといわれる。これに対して、高等学校で教える内容は多く、知識を問う問題を中心とする大学入学試験がある限り、高等学校

現場ではそれに対応する教育をしていかなければならないという声が聞かれる。昨年度の化学教育フォーラムでのアクティブラーニングをテーマにしたパネルディスカッションの中でも、そのような話が出ていた。

2016年3月には、「高大接続システム改革会議」の最終答申が出され、そこでは、高等学校教育改革、大学教育改革、そして大学入学選抜改革としていくつかの提言がなされ、「高等学校基礎学力テスト」および「大学入学希望者基礎学力テスト」（現在のセンター試験に代わるもの）の実施が示されたが、これは高大大一となった大規模な教育改革についての提言であるといえる。

講義中心でない授業や多面的な評価を実施している高等学校の教員や、ペーパーテスト以外の評価を重視した受け入れ制度を実施している大学の教員などからその状況を報告していただき、多面・多角的視点から高等学校教育と大学入学制度について議論をしたい。

プログラム

- 〈13:30～13:45〉
1. 開会の挨拶
2. 趣旨説明
〈13:45～14:30〉講演時間 各40分
3. 「高大接続システム改革会議（最終報告）」に関して（文部科学省高等教育局・高大接続改革PT専門官）福澤 光祐
〈14:30～15:50〉講演時間 各15分
4. 高大連携・飛入学（千葉大学大学院工学研究科・教授）工藤 一浩
5. AO入試・推薦入試（筑波大学アドミッションセンター（数理工学系）准教授）松井 亨
6. 高等学校での総合学習・卒業研究の大学進学にどうつながるのかの評価（東京大学教育学部附属中等教育学校・教諭）荒井 恵里子
7. Computer-Based Testing (CBT) 問題の試作（富山県立富山北部高等学校・教諭）山下 卓弥
〈16:15～17:00〉
8. パネルディスカッション
9. 閉会の挨拶
参加費：無料
申込方法：直接、会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 大倉
電話(03)3292-6164
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp